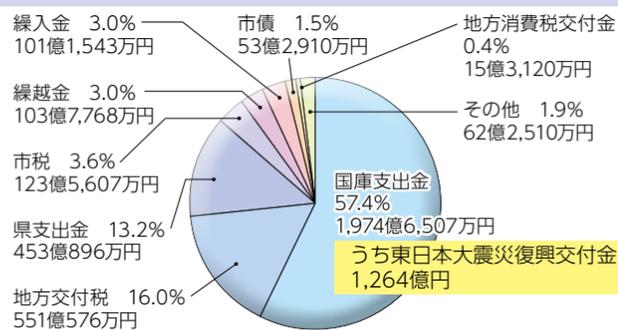
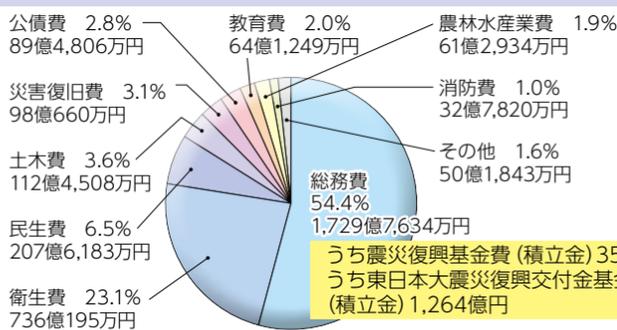


平成24年度 決算の概要 一般会計

歳入の内訳 (総額:3,438億1,437万円)



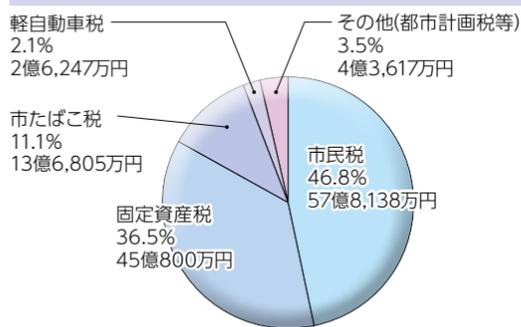
歳出の内訳 (総額:3,181億7,832万円)



これは、平成24年度・平成25年度に市の財政がどのように運営されたのか市民の皆さんに広く知っていただくために公表するものです。

市の財政状況をお知らせします

市税の決算状況 (総額:123億5,607万円)



※市民一人当たりの市税納付額 81,685円
一般会計歳出 2,103,478円
※一世帯当たりの市税納付額 210,001円
一般会計歳出 5,407,701円
人口(3月31日現在) 151,263人
世帯数(3月31日現在) 58,838世帯

都市計画税4億1,781万円は主に下水道事業および街路整備事業等に、入湯税1,836万円は観光振興および消防施設等の整備に充当しています。

特別会計

区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額
土地取得	62億 7,851万円	43億 4,482万円	43億 3,997万円
水産物地方卸売市場	6億 1,589万円	5億 3,027万円	4億 8,539万円
駐車場	2,241万円	2,231万円	2,231万円
下水道	108億 9,827万円	79億 6,416万円	77億 3,614万円
漁業集落排水	3,004万円	2,837万円	2,837万円
農業集落排水	11億 9,055万円	8億 8,294万円	7億 9,470万円
浄化槽整備	3,899万円	3,751万円	3,751万円
市街地開発	9億 2,400万円	6億 3,687万円	3億 5,300万円
国民健康保険	232億 2,241万円	229億 5,803万円	229億 4,960万円
後期高齢者医療	13億 311万円	12億 4,800万円	12億 4,560万円
介護保険	122億 5,740万円	120億 8,671万円	120億 8,515万円
合計	567億 8,158万円	507億 3,999万円	500億 7,774万円

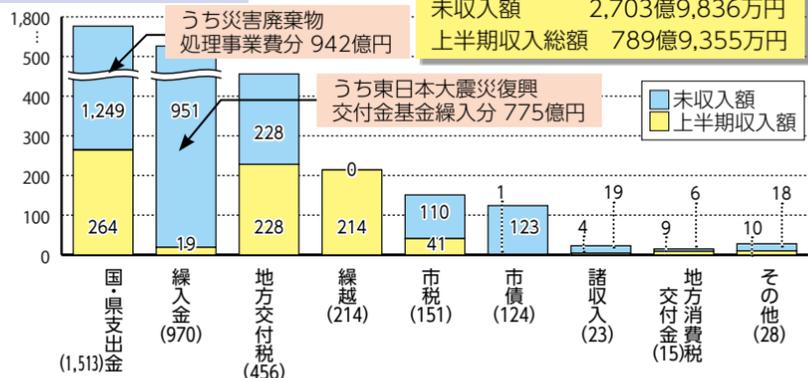
市有財産	土地	38,734,163㎡	出資金	21億7,309万円
	建物	713,876㎡	基金	2,022億1,909万円
	有価証券	5億 469万円		

石巻地方広域水道企業団への負担金 5億2,126万円

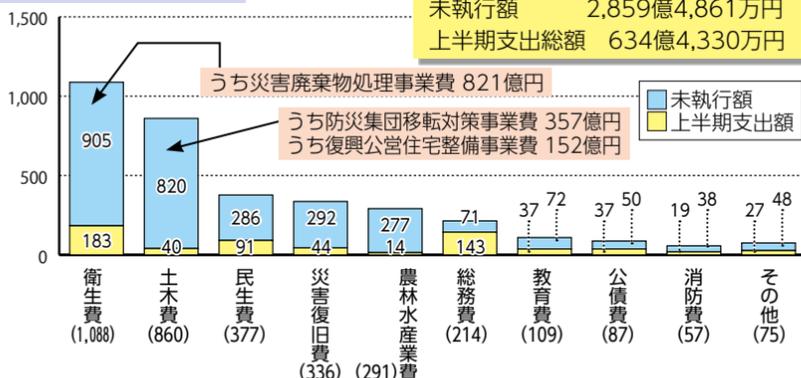
石巻地区広域行政事務組合への負担金 41億6,327万円

平成25年度 予算の概要 (平成25年9月30日現在) 一般会計

(歳入) (単位:億円)



(歳出) (単位:億円)



市有財産	土地	38,788,117㎡	出資金	21億4,183万円
	建物	710,370㎡	基金	2,152億 839万円
	有価証券	5億 469万円		

特別会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額
土地取得	29億 3,727万円	1億 4,109万円	12億 9,544万円
水産物地方卸売市場	2億 8,745万円	4,693万円	1億 8,915万円
駐車場	2,247万円	569万円	994万円
下水道	228億 1,123万円	14億 1,520万円	49億 7,864万円
漁業集落排水	2,017万円	17万円	1,089万円
農業集落排水	11億 1,474万円	2億 4,208万円	4億 488万円
浄化槽整備	1億 10万円	427万円	1,698万円
市街地開発	137億 5,004万円	2億 8,387万円	1億 2,533万円
国民健康保険	208億 900万円	86億 462万円	86億 5,567万円
後期高齢者医療	15億 2,222万円	4億 1,156万円	4億 1,460万円
介護保険	112億 5,758万円	51億 6,897万円	49億 2,594万円
合計	746億 3,227万円	163億 2,445万円	210億 2,746万円

	平成25年度 (平成25年9月30日現在)	平成24年度 (平成25年3月31日現在)	差額
市債残高(一般会計)	634億 4,819万円	666億 5,342万円	▲32億 523万円
うち災害援護資金貸付金	57億 3,246万円	56億 8,824万円	4,422万円
市債残高(特別会計)	603億 8,447万円	623億 3,084万円	▲19億 4,637万円

※市債 道路、公園および学校等長期期間使うものを建設する事業等について資金を借り入れ、分割返済することで後年度の人にもその費用を公平に負担していただくための制度です。
※災害援護資金 災害救助法が適用される災害が発生した場合に、市町村が被災した世帯に対して、生活の再建に必要な資金を低い金利で貸し付ける制度です。

石巻地方広域水道企業団への負担金 22億3,400万円

石巻地区広域行政事務組合への負担金 39億4,733万円

問 財政課(内線4057)

まちの話題

雄勝地区

10月12日(土) 旧雄勝総合支所跡地

人気のホタテまつりが復活

「おがつホタテまつり」が3年ぶりに開催されました。この日を待ちわびるように多くの人たちが市内外から訪れ、雄勝湾内で育てた大きくて新鮮なホタテを次々と買い求めていました。詰め放題や釣りコーナーも設けられ、子どもからお年寄りまでが楽しみながら挑戦していました。



河北地区

11月5日(火)
市営河北上品山牧場

放牧終えて里帰り

上品山牧場が冬季閉鎖されるため、放牧されていた繁殖雌牛がトラックに乗せられて畜主のもとに帰って行きました。震災後初めての放牧となった今年は、例年より1カ月ほど遅い6月下旬から始まりました。標高467mと夏場も涼しく、広々とした自然豊かな牧場で約4カ月間を過ごした約50頭は、ほとんどが受胎しており、丸々と太っていました。



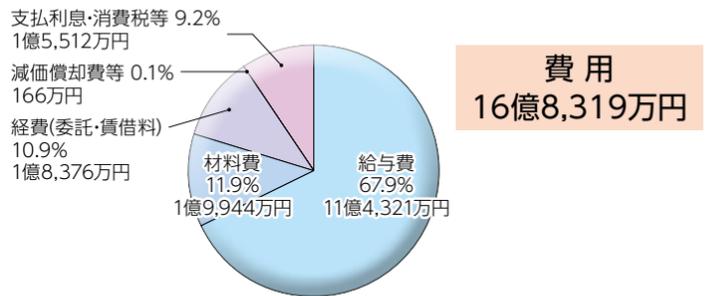
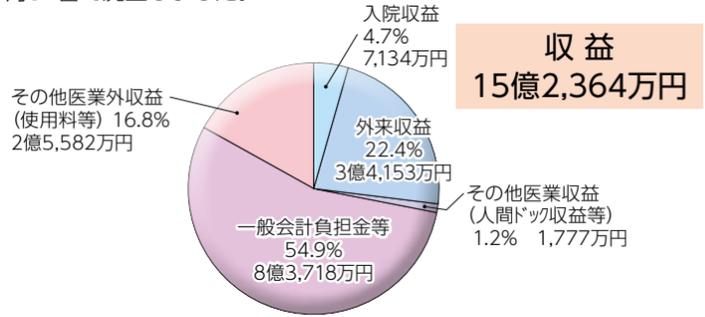
平成24年度 決算の概要 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分	石巻市立病院				石巻市立雄勝病院				石巻市立牡鹿病院			
	平成23年度 決算		平成24年度 決算		平成23年度 決算		平成24年度 決算		平成23年度 決算		平成24年度 決算	
	延患者数	1日平均患者数										
入院	-	-	-	-	-	-	-	-	4,761人	13.0人	3,539人	9.7人
外来	11,402人	51.1人	3,305人	16.1人	-	-	-	-	24,333人	99.7人	24,392人	99.6人
計	11,402人	-	3,305人	-	-	-	-	-	29,094人	-	27,931人	-

※平成24年度決算の入院診療日数は牡鹿病院で365日、外来診療日数は石巻市立病院205日、牡鹿病院245日です。
 なお、石巻市立病院は仮診療所の業務状況です。休止中の石巻市立雄勝病院は平成25年3月31日で廃止しました。

損益計算書(病院事業)

費用の部		収益の部	
医業費用	15億2,807万円	医業収益	4億9,016万円
医業外費用	1億5,512万円	医業外収益	10億3,348万円
計	16億8,319万円	計	15億2,364万円
当年度純利益	▲1億5,955万円	前年度繰越欠損金	112億8,548万円
		当年度未処理欠損金	114億4,503万円



貸借対照表(病院事業)

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	25億6,596万円	固定負債	8億7,000万円
流動資産	4億8,188万円	流動負債	3億9,192万円
		資本金	114億5,271万円
		剰余金	▲96億6,679万円
計	30億4,784万円	計	30億4,784万円

平成25年度 上半期の業務状況 (平成25年4月1日～9月30日)

区分	石巻市立病院				石巻市立牡鹿病院			
	平成24年度 上半期		平成25年度 上半期		平成24年度 上半期		平成25年度 上半期	
	延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
入院	-	-	-	-	2,133人	11.7人	1,194人	6.5人
外来	974人	12.8人	2,818人	22.5人	12,241人	97.9人	10,229人	81.8人
計	974人	-	2,818人	-	14,374人	-	11,423人	-

問 病院管理課
 ☎25-5671
 石巻市立牡鹿病院事務部門
 ☎45-3185



※平成24年度上半期の入院診療日数は牡鹿病院で183日、外来診療日数は石巻市立病院(開成仮診療所)で85日、牡鹿病院で125日です。
 ※平成25年度上半期の入院診療日数は牡鹿病院で183日、外来診療日数は石巻市立病院(開成仮診療所)、牡鹿病院ともに125日です。

平成24年度 健全化判断比率および資金不足比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、財政状況の健全性を判断するため、健全化判断比率および資金不足比率を算定しましたので、その状況を市民の皆さんにお知らせします。平成24年度決算に基づく市の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおり早期健全化基準等を下回り、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

【健全化判断比率】

(単位:%)

指標名称	平成24年度決算	財政健全化法	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.42	20.00
連結実質赤字比率	-	16.42	30.00
実質公債費比率	13.9	25.0	35.0
将来負担比率	68.0	350.0	-

※比率が該当しない場合は「-」で表示しています。

【資金不足比率】

(単位:%)

特別会計名称	平成24年度決算	財政健全化法
		経営健全化基準
水産物地方卸売市場	-	20.0 (全会計共通)
下水道	-	
漁業集落排水	-	
農業集落排水	-	
浄化槽整備	-	
市立病院	-	

※資金不足額がない(黒字)会計は「-」で表示しています。

問 財政課(内線4057)

～「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」とは～ 健全化判断比率等の公表制度を設け、その比率に応じて財政の早期健全化および財政の再生等に必要なる行政の措置を講ずることにより、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的に制定されたものです。

まちの話題

地域の文化が一堂に

桃生地区



11月2日(土)、3日(日・祝) 桃生公民館

「未来へつなぐ伝統と創造」をテーマに桃生文化祭が開かれました。地域の文化団体や、趣味で作品制作に取り組む人たちの発表の場として毎年開催されています。今年も会場には、書や絵、手工芸品、花等約1,500点が並び、訪れた人たちの目を楽しませました。また茶道や押し花等を体験できるコーナーも人気を集めていました。

河南地区

11月2日(土)
遊楽館



多彩なイベントで地域に活気

第22回かなんまつりが開催され、地場産品の直売や郷土芸能の発表、趣味の作品展示等が多彩に繰り広げられました。かなんまつりは地域の恒例行事で、震災後は仮設住宅で暮らす人たちとの交流の場にもなっています。今年もカラオケ大会や、制限時間内に箸で何個の大豆をつかめるかを競う住民参加イベント等で、会場は大いに盛り上がりしました。

平成24年度決算概要をお知らせします。

市立3病院事業のあらまし

多年にわたる功績をたたえて 平成25年度石巻市市政功労者表彰式

11月4日(月・振休)、遊楽館かなんホールにおいて、市政功労者表彰式が開催されました。

長い間、市の発展に寄与された自治功労等8部門116名・1団体の方々が表彰されました。

(受賞者) ※敬称略

- 阿部和芳(元市議会議員)
- 齋藤 潔(現市国民健康保険運営協議会委員)
- 芳賀 信幸(現 介護保険運営審議会会長・地域包括支援センター運営協議会会長)
- 橋浦 豊秋(現市行政委員)
- 木村 勝(現市行政委員)
- 松原 辰子(現市行政委員)
- 高橋 徳男(現市行政委員)
- 鈴木 勇男(現市行政委員)
- 甲谷 強(現市行政委員)
- 若生 利治(元市行政委員)
- 高木 末雄(元 宜山町町内会会長)



高橋 邦夫(元 上大街道第一町内会副会長兼会計)

遠藤 国男(現 下大街道第二町内会副会長兼総務部副部長)

富澤 裕子(現 日和三丁目内会総務部長)

高橋 淳(現 駅前北通り親和会福祉部長)

青木 勝弥(現 新中里親和会防犯防災部長)

及川 ふみ子(現 東中里親栄会副会長)

山浦 曠紀(現 水明町内会監事)

平泉 佳伸(現 水押町内会防犯防犯部長)

菅野 微笑(現 水押町内会福祉部長)

齋藤 寛治(現 開北町内会副会長)

眞山 武次(元 駅前親交会顧問)

伊藤 典男(元 田道町一丁目町内会監事)

佐々木 武吉(現 明神町一丁目町内会副会長)

木村 猛(現 三和町行政区副区長)

佐々木 義明(現 井内東部町内会広報部長)

平塚 俊一(現 井内東部町内会総務部長)

高橋 勇(現 丸井戸第一町内会衛生部長)

石母田 とく子(現 丸井戸第一町内会会計)

鈴木 和男(元 境谷地町内会会計部長)

佐々木 久満(元 境谷地町内会庶務部長)

木村 俊和(現 中塚第1町内会防犯部長)

近藤 敏行(現 心和会庶務部長)

熊谷 一夫(現 谷地町内会副会長)

長谷川 信雄(現 新栄会交通安全部長)

大坂 昇(現 市渡波地区納税貯蓄組合連合会会長・折立西納税貯蓄組合会長)

阿部 淳一郎(現 園医・学校医)

宮城 秀晃(現 学校医)

鈴木 明宏(現 学校医)

古山 元之(現 学校医)

成田 満義(現 学校医)

櫻井 忠実(現 学校医)

簡野 泰裕(現 学校医)

志摩 修一(現 学校歯科医)

北條 仁一(現 学校薬剤師)

尾形 敏子(現 市保健推進員)

鈴木 みつ子(現 市保健推進員)

馬場 せい子(現 市保健推進員)

今泉 國子(現 市保健推進員)

三浦 光代(元 市保健推進員)

伊藤 みわ子(元 市保健推進員)

伊藤 好美(現 市統計調査員)

山本 清子(元 裏千家石巻同門会役員・石巻華道協会役員・現 茶道裏千家指導者・華道小原流教授)

豊島 富美志(現 東浜小学校・荻浜中学校獅子風流講師)

板倉 弘行(現 蛇田地区スポーツレクリエーション親交会副実行委員長)

山下 廣一(現 市スポーツ推進委員)

北上カッターサークル

平成11年8月1日設立

川端 音吉(現 市老人クラブ連合会副会長・市北上支部老人クラブ連合会会長)

菊地 ふぢ子(現 民生委員・児童委員)

高橋 博子(現 民生委員・児童委員)

阿部 ひろ子(現 民生委員・児童委員)

日野 雅晴(現 民生委員・児童委員)

佐藤 つや子(現 民生委員・児童委員)

白石 せつ子(現 民生委員・児童委員)

蟻坂 隆(現 民生委員・児童委員)

内海 忠(現 民生委員・児童委員)

山口 千賀子(現 民生委員・児童委員)

石母田 裕美(現 民生委員・児童委員)

中野 かつ子(現 民生委員・児童委員)

武田 美也子(現 民生委員・児童委員)

阿部 けい子(現 民生委員・児童委員)

津田 榮一(現 民生委員・児童委員)

津田 幸子(現 民生委員・児童委員)

千葉 かよ子(現 民生委員・児童委員)



阿部 悟(現 市消防団分団長)

阿部 哲夫(現 市消防団副分団長)

首藤 重夫(現 市消防団副分団長)

鈴木 至(現 市消防団部長)

高橋 一郎(現 市消防団部長)

高橋 哲郎(現 市消防団部長)

門間 康之(現 市消防団部長)

阿部 秀樹(現 市消防団部長)

高橋 洋(現 市消防団部長)

生出 和美(現 市消防団部長)

杉山 英紀(現 市消防団部長)

紫桃 隆洋(現 市消防団部長)

首藤 昭男(現 市消防団部長)

遠藤 博幸(現 市消防団部長)

佐藤 洋和(現 市消防団部長)

三浦 喜広(現 市消防団部長)

三條 長一郎(現 市消防団部長)

佐藤 明子(現 市防犯協会連合会石巻支部北分会婦人部副部長)

堀川 恵美子(現 民生委員・児童委員)

中澤 定子(現 民生委員・児童委員)

櫻井 美子(現 民生委員・児童委員)

菊地 千代子(現 民生委員・児童委員)

山脇 裕三(現 民生委員・児童委員)

石井 和子(現 民生委員・児童委員)

矢入 清一(現 民生委員・児童委員)

伊藤 優子(現 民生委員・児童委員)

佐々木 以功子(現 民生委員・児童委員)

佐藤 幸子(現 民生委員・児童委員)

今野 トヒコ(現 民生委員・児童委員)

阿部 哲夫(現 市消防団副分団長)

首藤 重夫(現 市消防団副分団長)

鈴木 至(現 市消防団部長)

高橋 一郎(現 市消防団部長)

高橋 哲郎(現 市消防団部長)

門間 康之(現 市消防団部長)

阿部 秀樹(現 市消防団部長)

高橋 洋(現 市消防団部長)

生出 和美(現 市消防団部長)

杉山 英紀(現 市消防団部長)

紫桃 隆洋(現 市消防団部長)

首藤 昭男(現 市消防団部長)

遠藤 博幸(現 市消防団部長)

佐藤 洋和(現 市消防団部長)

三浦 喜広(現 市消防団部長)

三條 長一郎(現 市消防団部長)

佐藤 明子(現 市防犯協会連合会石巻支部北分会婦人部副部長)

堀川 恵美子(現 民生委員・児童委員)

中澤 定子(現 民生委員・児童委員)

櫻井 美子(現 民生委員・児童委員)

菊地 千代子(現 民生委員・児童委員)

山脇 裕三(現 民生委員・児童委員)

石井 和子(現 民生委員・児童委員)

矢入 清一(現 民生委員・児童委員)

伊藤 優子(現 民生委員・児童委員)

佐々木 以功子(現 民生委員・児童委員)

佐藤 幸子(現 民生委員・児童委員)

今野 トヒコ(現 民生委員・児童委員)

阿部 哲夫(現 市消防団副分団長)

首藤 重夫(現 市消防団副分団長)

鈴木 至(現 市消防団部長)

高橋 一郎(現 市消防団部長)

高橋 哲郎(現 市消防団部長)

門間 康之(現 市消防団部長)

阿部 秀樹(現 市消防団部長)

高橋 洋(現 市消防団部長)

生出 和美(現 市消防団部長)

杉山 英紀(現 市消防団部長)

紫桃 隆洋(現 市消防団部長)

首藤 昭男(現 市消防団部長)

遠藤 博幸(現 市消防団部長)

佐藤 洋和(現 市消防団部長)

三浦 喜広(現 市消防団部長)

まちの話題

牡鹿地区



10月13日(日)
旧牡鹿公民館跡地

3年ぶりの鯨まつりに活気

捕鯨文化を伝える「牡鹿鯨まつり復活祭」が開催され、鯨肉の炭火焼きコーナーやステージイベントが人気を集めました。

鯨まつりは昭和28年から続く伝統行事です。震災で中断されていましたが、地域の復活を願う人たちの熱意で3年ぶりに開かれました。楽しみにしていた大勢の市民や観光客で会場は終日、にぎわいをみせていました。

北上地区



11月3日(日・祝)
にっこりサンパーク入口

郷土の味でおもてなし

自転車で被災沿岸部を巡る「ツール・ド・東北2013in宮城・三陸」が初開催され、選手のために設けられた休憩所では、地元の人たち等によるボランティア団体の白浜海水浴場再開協議会がアワビの入った特製茶わん蒸しを提供しました。温かい茶わん蒸しで疲れを癒やした選手たちは、ラストスパートをかけてゴールを目指しました。